



# 西中だより

令和3年4月28日(水) 第1号

鹿児島市立西紫原中学校  
学 校 だ よ り

【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。  
【一学校一改善】 先手あいさつ

## 令和3年度 更なる発展の年に

令和3年度が全校生徒586人、職員51人(スクールカウンセラー、ALTを含む)でスタートし、早くも一か月になるうとしています。

今年度も昨年に引き続き積極的にあいさつできる学校、あいさつであふれる学校にしていきたいと考えています。

そこで、一学校一改善を「先手あいさつ」(心に届くあいさつ)を継続しています。現在昨年度以上にあいさつがよくなってきていると感じます。生徒指導通信「考動」(4月22日)にあいさつの力を感じる一文が紹介されていました。再掲します。(1年生の日記より)



朝、勇気を出して「おはよう」とあいさつを積極的にしてみたら、今まで話したことのなかった人や他の小学校だった人と仲良くなることができました。あいさつの力は偉大です。

今年はいあいさつあふれる姿を西中スタンダードとしていきたいと考えています。ご家庭・地域でご理解・ご協力いただければ幸いです。

さて、令和3年度はいろいろなことが新しくスタートする年でもあります。学習指導要領が中学校でも全面実施され教科書も新しく変わりました。GIGAスクール構想に基づき、一人一台タブレットも進んでいきます(令和4年度末までに完了予定)。人権教育を学校の教育活動の根幹とすることを昨年度以上に進め、性別に分けない名簿の使用や服装や髪型等学校のきまりとして規制するのではなく、自ら考えて行動するようにしました。大変なところもあるかもしれませんが、この環境の中で育った生徒がどのような大人になっていくかワクワクもします。

一方、西紫原中学校は今年で創立43周年となります。ノーチャーム、作業前の静思、授業前の黙想等42年間の歴史が脈々と引き継がれています。伝統ある行事としては体育大会、合唱コンクール等あげられます。新しいことだけに目を奪われるのではなく、これまでの伝統も引き継ぎ西紫原中学校の特色を生かして参ります。

## 命を守る 日々の生活を守る

新型コロナウイルス感染症が日々の生活や学校の教育活動にも大きな影響を与えています。マスク着用・手洗いの徹底、健康状態(発熱等)の把握、密をさける等できることを確実に進め、学校でクラスターを発生させないだけでなく、濃厚接触者と認定される人を減らす努力を行っています。ゴールデンウィークもきますが、最新の情報を得ていただき、ご家庭でも感染予防に努めていただくようお願いいたします。

なお、4月20日付けで「新型コロナウイルス感染症にかかる学校の対応について」を配付してあります。ゴールデンウィーク期間中でも、PCR検査等受検する必要が生じた場合には、「西紫原中安心メール」の「欠席・遅刻届」を用いて学校へご連絡ください。よろしく申し上げます。